



- ・市町村負担金（アプリケーション保守費の2／3）

#### （４）類似事業の有無

- ・類似事業なし

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,126	システム保守管理費
合計	2,126	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### （１）各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）

##### 第3部－第2章－第6節救急医療対策

岐阜大学を中心として開発・研究が進められている救急医療体制支援システム「GEMITS」との連携も含め、他の機関で開発・導入されている先進的な事例の調査・研究を行うことも必要です。

#### （２）国・他県の状況

- ・GEMITSについては、岐阜大学が進めているものであり、国（経済産業省及び総務省）の委託事業として採択され、実証実験を実施した。

#### （３）後年度の財政負担

- ・事業継続のためのシステム保守管理費、端末サポート費
- ・平成29年度以降は、関係する市町村への負担を求めている。平成30年度以降の負担金は、アプリケーション保守費の2／3。

#### （４）事業主体及びその妥当性

- ・県の救急医療の更なる質の向上を目指すものであり、県が事業主体となり実施する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 救急現場において、消防機関、医療機関がメディカカードの患者情報を迅速に共有し、患者情報を医療機関での受入れ準備に活かすこと等により患者に対する救急医療提供の向上をめざす。また、様々な事例を検証し、システムのより効率的な運用をめざしていく。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
① メディカカード情報読取件数（H27は可茂のみ）		20 (R1)	150	150		%
② メディカカード情報オンライン送信件数（H27は可茂のみ）		0 (R1)	30	30		%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> <li>岐阜大学、可茂地域の救急病院、可茂消防本部等の関係機関と協議し、新たなメディカ情報読取システムの導入を行い、H27年8月より実運用を開始した。</li> </ul>
令和3年	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	岐阜県の救急医療の更なる質の向上を目指すものであり、事業の必要性、県の関与の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 3	メディカカードを全県的に普及させること、読み取ったカード情報をオンラインで共有できる医療機関を拡大する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	GEMITSプロジェクトにおいて、既に整備がなされている機器、カード等の資源を有効活用するものであり、効率的な事業実施方法である。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後の事業展開には、費用負担も含め、メディカカードの普及が鍵である。また、メディカカード読み込み機能を有したタブレット端末の種類が減少しており、事業を継続する上で、改修が必要となる。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内約1万8千人の患者の命を支えるシステムとして、引き続き、岐阜大学、NPO法人岐阜救急災害医療研究開発機構、病院、消防等と連携しながら事業を進めていく。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	